

8月25日説教(短縮版)隅野瞳牧師「キリストはあなたを照らされる」 エフェソ5:8～20

エフェソの信徒たちにパウロは、以前の墮落した、自分中心の生活に陥らないよう励まします。あなた方は闇であったが、今は主に結ばれて光となったのだと。光なる神は命を与え全く聖なる方であって、御言葉によってキリストの恵みを示し、罪を明らかにしてください。悔い改めて救い主キリストを信じた私たちは光の子とされましたから、キリストがしてくださったようにこの世のただ中で、感謝をもってキリストを証するのです。

私たちの内には、光なる神を避けようとするもう一人の自分があります。心の傷や失敗、負の感情、決して人には知られたくない閉ざされた心の部屋があるのです。しかし主は、「わたしはあなたを罪に定めない」と語りかけてくださいます。自分の暗闇をキリストの光のもとに差し出す時、十字架の主がそのすべてを担ってくださっていると知ります。私たちが恥じていた暗闇を、主は光としてしまわれます。「起きよ、立ち上がれ」と主は呼びかけてくださいます。そのままのあなたで御前に進みゆきましよう。

パウロはエフェソの信徒たちに、聖霊によって満たされることを勧めます。聖霊が満ちてくださる時、私たちの内から主への賛美がわきあがります。賛美によって私たちは主と隣人への愛や、苦しみを乗り越え、罪に勝利する力が与えられます。ここで賛美は「語り合う」と言われています。同じく光とされた兄弟姉妹とともに礼拝、信仰の歩みにおいて主の恵みを語り合い、最善をなしたもう主を賛美しましょう。

聖霊に満たされる。それは自己中心な思いをおいて、主が私たちの心を治めてくださるようゆだねることです。そこには御心との衝突が何度もあるでしょう。しかし礼拝につながり御声を聴き続ける時に、神の喜ばれることと自分の喜びが一つになっていきます。聖霊に満たされた人は現実の生活の中で、出会う人たちと協力し共に生きることを願います。御心を求め、お従いする信仰が与えられるよう祈りましよう。「どうぞ私たちをきよめてお用ください。」光の主の照らされた者として感謝をもって遣わされ、私たちではなく主を宣べ伝えてまいりましよう。(終)